

坂田ヶ池公園で生き物探し Part 1

藤田 隆（松戸市）

日 時：2023年7月26日（水）9時30分から11時30分

場 所：成田市坂田ヶ池総合公園、

参加者：26名（大人12名、子ども14名）

担当指導員：伊藤、井上、内島、小川、藤田

猛暑の坂田ヶ池総合公園は集合時間の時点で30度を軽く超し、日なたはジリジリという表現がぴったりな陽ざしでした。日陰を選んで待機し、3班に分かれてスタートしました。池のへりを歩いていくとコシアキトンボが飛行していました。「お腹が白いトンボ」という声が聞こえたので、「お腹の一部が白く色が抜けて、コシアキトンボと言われているよ。」とワンポイント加えました。

湿性植物園前の休憩広場で昆虫採集をしました。子どもたちが14人、一斉に広場に散ると昆虫もあわてるのでしょうか？次々に獲物をプラカップに入れて運んできました。ショウリョウバッタ、イナゴ、オオシオカラトンボ、ヤマトシジミ、ヒシバッタ、カナヘビ、サワガニ、ヨコエビ、ヌマガエル、ナガコガネグモと20分程の採集でクモ、昆虫、両生類、爬虫類がカップに収まりました。

昆虫採集を終えて、浮橋を渡りキャンプ場下の広場で保護色ゲームをしました。みどり、赤に染めたものと無垢のツマヨウジをそれぞれ50本ずつ3.5メートル四方に撒き、2分間でいくつ取れるかのゲームをしました。みどりは蛍光色が混じっていて、かえって目立ちやすく、赤いツマヨウジとともにほとんど取られてしまいました。無垢の爪楊枝は半分ほどしか取れませんでした。

ゲームの後は涼しい管理棟に入って、採集したモノで生態系ピラミッドの作業をしました。植物の生産者から草食系一次消費者、肉食系一次消費者、高次消費者のランクに次々において行き、生態系ピラミッドが完成しました。その後、クイズコーナーをして、終了しました。

子どもたちから、楽しかったという大きな声が届きました。一人一人からカブトムシ、虫2匹、カナヘビなどと採集したものの紹介がありました。知っていることと知らないことが分かってよかったと感想を述べる子もいました。

保護者からは、初めて虫をさわって怖くなかったという子どもの様子にビックリしたこと、バッタとキリギリスの違いが分かったこと、親子で普段出さない昆虫採集に来られたこと、遊具にばかり目がいく公園で、昆虫採集できることが分かった。「これはなんだろう」で終わっていた昆虫採集に興味を持てたと印象を語ってくれました。

